

平成30年度 第3回小出警察署協議会議事概要

開催日時	平成30年12月21日（金）午後1時15分から午後2時30分まで				
開催場所	小出警察署講堂				
出席者	委員 (定数6人)	横山会長 酒井委員	瀧澤副会長 佐藤委員	桑原委員 平井委員 (会長・副会長以下50音順)	計6人
	警察	小林署長 生活安全課長	大塚次長 交通課長	警務課長	計5人

管内の治安情勢

署長から、平成30年11月末現在の管内の治安情勢について、資料に基づき説明があった。

前回の答申事項に対する業務推進状況

署長から、前回答申した重点推進項目の取組状況について説明があった。

1 交通死亡事故抑止対策

(1) 関係機関と連携した抑止対策

ア 魚沼市、交通安全協会と連携した事故防止の呼び掛け

(ア) 9月21日、管内小学校入り口において、魚沼市長、交通安全協会会長、署長が、登校する児童に対し交通事故防止指導を実施した。

(イ) 9月21日、広神地区において、交通指導所の開設及び家庭訪問による交通事故防止広報を実施した。

(ウ) 9月25日、湯之谷地区において、家庭訪問による交通事故防止広報を実施した。

(エ) 10月3日、飲酒運転根絶に向けた管内120事業所の署名とのぼり旗を受領。のぼり旗は警察署入り口に掲出して広報に活用した。

(オ) 10月14日、管内で開催されたまつり会場において、反射材、ちらしを配布して広報を実施した。

イ その他の関係機関との連携

(ア) 地元ケーブルテレビ「魚沼ケーブルテレビ」における広報活動

交通課長がテレビ番組に出演し、反射材の活用と安全運転を呼び掛ける広報を実施した。

(イ) 県警本部との連携

管内自動車学校において、警察本部交通企画課「かがやき号」によるシミュレーター訓練や、コースを使用した実走行訓練等を高齢者や女性ドライバーを対象に実施した。

(2) 交通事故分析に基づく各種施策と効果検証

事故多発交差点であった「十日町東交差点」に新たに交通信号機を設置した。10月12日運用開始以降、交通事故の発生は無い。

(3) 死亡事故に直結する危険違反の指導取締り強化

飲酒運転・交差点関連違反を重点に取締りを実施した。

2 特殊詐欺被害防止対策

(1) 検挙活動の推進

ア 警察官等を騙る特殊詐欺前兆電話に関する通報は多数寄せられたが、検挙活動に繋がる届出は無かった。

イ 昨年特殊詐欺未遂で、受け子1人を逮捕した事件において、その後の捜査により、新たにリクルーター役の男1人を逮捕した。

(2) 被害防止対策の強化

ア 被害防止広報・教室の推進

(ア) 9月6日、10月20日、10月28日、管内の老人会の会合に受け持ち署員が出席し、寸劇や講話を行うなどして分かりやすい、親しみやすい広報を実施した。

(イ) 10月11日、管内のスーパーにおいて、魚沼市職員と署長以下署員が啓発品を配布して被害防止広報を実施した。

(ウ) 10月20日、管内響きの森公園で開催された「大農業祭」に参加し、署長以下署員が啓発品を配布して被害防止広報を実施した。

(エ) 11月13日、管内で開催された企業協会の懇談会において、被害防止の講話を実施するとともに、従業員に対する教養の実施を依頼した。

イ 金融機関、コンビニエンスストア等の協力による水際対策の推進

(ア) 9月3日、地元金融機関である塩沢信用組合と、特殊詐欺被害防止活動等の地域の安全安心の確保を目的とした「包括連携協定」を締結した。

(イ) 9月18日、塩沢信用組合小出郷支店において、地元住民が多額の定期預金の解約を求める高齢女性役を演じ、組合員が対応するという住民参加型の水際防止訓練を実施した。

(ウ) 毎月、管内コンビニエンスストアに対し「特殊詐欺被害防止だより」を発送し、被害状況、犯行手口等の情報提供を実施している。

ウ 被害の現状や手口などの情報発信

(ア) 10月6日から11月30日までの間、小出警察署警察官、消費生活センター職員、魚沼市役所職員を騙る特殊詐欺前兆電話が、特に週末に多発したことから、複数回にわたり、金融機関、コンビニエンスストア、魚沼市、FMうお

ぬま、タクシー会社等に対し手口等を含めた情報提供を行い、魚沼市メール、FMうおぬまの放送により、市民に対する被害防止広報を実施した。

(イ) 地元ケーブルテレビ「魚沼ケーブルテレビ」による情報発信等

10月9日、生活安全課長がテレビ番組に出演し、犯行手口や管内の特殊詐欺の被害現状について情報発信し被害防止広報を実施した。

(ウ) 各交番・駐在所が作成する所管区広報紙に、犯行手口や被害現状を掲載して情報提供を実施した。

(エ) 特殊詐欺被害防止推進員「小出署『特殊詐欺なくし隊』」に対しては、毎月「特殊詐欺被害防止推進員だより」を発出し、被害現状及び犯行手口等について情報提供を実施している。

3 山岳遭難等防止対策

(1) 広報活動の推進

ア 宿泊施設、道の駅、コンビニエンスストア等への広報ちらしの掲示

- ・ 伝之助小屋等宿泊施設16箇所
- ・ 「道の駅ゆのたに」、「道の駅いりひろせ」の2箇所
- ・ ローソン魚沼湯之谷店等コンビニエンスストア3箇所

イ 登山口施設への広報用ちらしの掲示

守門岳二口登山口、浅草岳ネズモチ登山口等3箇所

ウ 所管区広報紙による広報を実施

堀之内交番、上条駐在所、入広瀬駐在所の広報紙に掲載

エ 小出署ホームページに広報用ちらしを掲載

(2) 関係機関との連携

ア 魚沼市・交通安全協会と連携した広報

秋の全国交通安全運動時実施した交通指導所、家庭訪問広報において、併せて注意喚起が記載されたポケットティッシュを配布して、山岳遭難等の防止についても広報を実施した。

イ 地元ケーブルテレビ「魚沼ケーブルテレビ」による広報

11月30日、地域課長がテレビ番組に出演し、冬山登山、バックカントリーにおける注意喚起を呼び掛ける広報を実施した。

ウ 魚沼消防本部と連携した救助活動

10月7日、平ヶ岳池の沢で発生した沢登り登山者の滑落死亡事故において、魚沼市消防本部と緊密な連携を図り、遭難者の救助活動を実施した。

諮問

署長から、当面の重点推進事項について次のとおり諮問があった。

1 交通死亡事故抑止対策

(1) 関係機関と連携した抑止対策

(2) 交通事故分析に基づく各種施策と効果検証

(3) 死亡事故に直結する危険違反の指導取締り強化

2 特殊詐欺対策

- (1) 検挙活動の推進
- (2) 被害防止対策の強化

諮問に対する意見・質疑等（〇は署長等の説明）

1 相変わらず高齢者等による交通事故が後を絶たない状況であり、更に力を入れた取組を検討願いたい。

○ 引き続き取組内容を検討しながら対応していきたいと思えます。

2 各広報に関し、国道17号沿いに、パチンコ店等の目立つ電光看板があるが、協力、連携して広報が実施できれば効果的ではないか。

○ 特殊詐欺広報については一部行われているところもあり、交通事故防止広報についても今後検討していきたいと思えます。

答申

小出警察署協議会として協議、検討した結果、諮問のとおり推進するよう答申した。

速度等取締り指針の策定

交通課長から、交通事故発生実態に合わせた速度等取締りを実施する旨の説明があった。

意見・要望・質疑等（〇は署長等の説明）

1 特殊詐欺の被害防止において、一人暮らしの高齢者が非常に増えており、防犯機能付き電話機の設置が効果的ということから、今後広く普及するよう広報して頂きたい。

○ 魚沼市や当署で保有する貸し出し用の防犯機能付電話機は、既に全て貸し出し状態であり、今後も貸し出し用電話機の増設及び希望者への紹介等普及を進めていきたいと考えています。

その他

協議会終了後、魚沼市長らとともに年末特別警戒を督励、署員らとともに広報用ちらしの配布を実施した。